

教科・科目		対象学年	単位数	教科書	使用教材
数学・数学Ⅰ		1	3	新編 数学Ⅰ (数研出版)	Study Up ノート 数学Ⅰ 数研出版
目標	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価	・ 定期考査と課題の内容から「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 授業や課題の取り組み状況から「主体的に学習に取り組む態度」評価する。				
学期	学習内容（単元）		到達目標		
1	1 数と式	・ 二次の乗法公式や、因数分解の公式、一次不等式の性質を理解し、問題解決できる。			
	2 集合と命題	・ 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、集合の考えを用いて簡単な命題を証明できる。			
2	3 二次関数	・ 二次関数の値の変化やグラフの特徴、二次方程式や二次不等式とグラフの関係を理解している。 ・ 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題解決できる。			
	4 図形と計量	・ 鋭角の三角比の意味や相互関係、正弦定理、余弦定理を活用して問題解決できる。			

3	4 図形と計量	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題解決できる。
	5 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその使い方を理解している。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択し、分析を行い、データの傾向を把握して、事象の特徴を説明できる。